

●「安心なまち」を目指して
東区に自動体外式除細動器（AED）を設置

区民の皆さんが安心して暮らすことができるように、今年6月に東区役所・区民センター、区内各地区センターに、自動体外式除細動器（AED）を設置しました。東区役所では、区民センター側1階のエレベーターの付近に設置し、各地区センターでは事務室で保管しています。



東区に寄付された自動体外式除細動器（AED）。電気ショックの必要性を判断して、音声で指示を出します

除細動器（AED）とは

簡単に説明すると、心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す医療機器です。日本では、これまで除細動器を使用できるのは、医師や救急救命士に限られていました。

しかし、昨年7月から、救命のためであれば一般市民も使用できるようになりました。心肺停止状態の人を発見した時に、救急車が到着するまでの間、生死を左右するのは早期の救命処置です。除細動器の操作は

音声案内に従い、簡単に行うことができます。

今回、東区に設置した除細動器4台は、前東消防団団長の山本博さんと東消防団（団長 東田慎悟さん）の寄付によるものです。「東区が安心・安全なまちとなるように」という願いを込めて、寄付していただきました。早速、区役所の職員が除細動器を使った普通救命講習を受けました。

除細動器（AED）を使うには
まずは119番通報し、心肺蘇生法を

倒れている人を発見した時は、まず意識があるかどうかを確認し、119番通報を行います。意識がなければ、周囲の人に、119番する人と除細動器を持つてくる人を指示します。除細動器を使用する前に、まずは人工呼吸や心臓マッサージを行います。除細動器は、傷病者の横に置き、電源を入れ、音声案内に従って操作します。



除細動器（AED）を使用する前に、心肺蘇生法を実施します

傷病者に電極パッドを張り付けると、自動的に心電図の解析が始まります。解析の結果、「除細動ボタンを押すように」などの音声メッセージが出された時は、「除細動ボタン」を押します。



除細動器（AED）に通電する場合は、周囲の人に傷病者から離れるよう指示します

到着した救急隊に引き継ぐまでは、電極パッドをはがさず、除細動器の電源も入れたままにしておきます。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
除細動器を区役所・地区センターに導入したのは、市内では東区が最初です。区民の皆さんとともに、安心・安全なまちづくりを進めていきます。

東区タウントーク
を開催しました

7月28日(木)にサッポロさとらんど交流館で「東区タウントーク～あなたの街で市長と語ろう！」を開催しました。予想を上回る約190の方々に参加していただきました。本誌8頁に当日の様子が掲載されていますのでご覧ください。

また、タウントークの様子は東区民ホームページ「ようこそひがしく」にも掲載しています。

広告欄